



2 0 1 9 年 7 月 2 5 日

日 本 鉄 道 労 働 組 合 連 合 会

J R 西 日 本 連 合 「 第 2 8 回 定 期 大 会 」

組 合 員 と 家 族 の 負 託 に 応 え 責 任 あ る 運 動 を 進 め て い く

～ 新 議 長 に 上 村 氏 、 事 務 局 長 に 白 壁 氏 を 選 出 ～



J R 西 日 本 グ ル ー プ 労 働 組 合 連 合 会 (J R 西 日 本 連 合) は 7 月 2 4 日 、 大 阪 市 内 で 第 2 8 回 定 期 大 会 を 開 催 し 、 新 年 度 の 運 動 方 針 を 満 場 一 致 で 決 定 し た。

荻 山 市 朗 議 長 は 挨拶 で 、 2 0 1 9 春 季 生 活 闘 争 で ベ ア 獲 得 単 組 数 が 過 去 最 高 を 更 新 し た こ と に 触 れ 、 加 盟 各 単 組 の 取 り 組 み に 対 し て 謝 辞 を 述 べ た 一 方 で 、 J R と グ ル ー プ 会 社 、 グ ル ー プ 会 社 相 互 間 の 賃 金 や 処 遇 格 差 が 依 然 と し て 縮 ま っ て い な い 現 状 を 指

摘 し 、 「 人 材 不 足 が 深 刻 化 す る 中 で 、 J R 西 日 本 グ ル ー プ 内 の 経 営 体 力 の バ ラ ン ス を 適 正 化 し 、 J R 西 日 本 グ ル ー プ に 相 応 し い 処 遇 を 確 保 で き る 各 社 の 持 続 的 、 安 定 的 な 経 営 展 望 を 確 立 す る こ と が 必 要 」 と の 認 識 を 示 し た 。 そ の 上 で 、 本 大 会 で 付 託 さ れ た 重 要 課 題 と し て 、 ① 職 場 か ら の 安 全 の 確 立 、 ② 公 正 分 配 の 継 続 ・ 労 働 力 不 足 の 下 で の 働 き 方 改 革 の 推 進 、 ③ 信 頼 さ れ る 組 織 と 運 動 の 充 実 ・ 強 化 と J R 連 合 へ の 総 結 集 の 支 援 、 ④ 政 治 活 動 へ の 理 解 と 協 力 の 4 点 に つ い て 提 起 し 、 そ れ ぞ れ に 対 す る 見 解 を 述 べ た 。

大 会 に は 来 賓 と し て 、 交 運 共 済 西 日 本 事 業 本 部 、 明 治 安 田 生 命 の 代 表 者 ら が 出 席 し 、 祝 辞 を 述 べ た 。 J R 連 合 か ら は 尾 形 泰 二 郎 事 務 局 長 と 北 村 公 次 労 働 政 策 部 長 が 出 席 し た 。

議 事 で は 、 幹 事 会 が 提 起 し た 議 案 に 対 し て 6 人 の 代 議 員 か ら 発 言 が あ り 、 白 壁 靖 子 事 務 局 次 長 の 答 弁 を 経 て 、 全 議 案 を 満 場 一 致 で 採 択 し た 。 ま た 、 役 員 選 出 で は 長 年 に 亘 り J R 西 日 本 連 合 の 運 動 を 牽 引 し て き た 荻 山 議 長 、 里 内 義 次 事 務 局 長 な ど 6 人 の 役 員 が 退 任 し 、 新 た に 上 村 良 成 議 長 (J R 西 労 組 中 央 執 行 委 員 長) 、 白 壁 事 務 局 長 を は じ め と し た 新 役 員 を 選 出 し た 。

ま た 、 大 会 終 了 後 の レ セ プ シ ョ ン に は 来 島 達 夫 J R 西 日 本 代 表 取 締 役 社 長 が 駆 け っ け 、 会 社 施 策 に 対 す る J R 西 日 本 連 合 の 理 解 と 協 力 に 謝 辞 を 述 べ る と と も に 、 加 盟 各 単 組 の 出 席 者 と 懇 談 し た 。